



2025年5月14日

各 位

会 社 名 東 洋 精 糖 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長執行役員
三 木 智 之
(コード番号 2107 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役専務執行役員
鈴 木 陽
(TEL 03-3668-7871)

持分法による投資損失の計上及び業績予想と実績値の差異等に関するお知らせ

2025年2月6日に公表いたしました2025年3月期通期業績予想値と本日公表の実績値に差異等が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 持分法による投資損失の計上

当期に持分法適用関連会社となった、宮古製糖株式会社株式の取引価格は、当社の仕入コストの削減等の効果を踏まえて決定しております。しかし、当該効果は、「金融商品に関する会計基準」に定める実質価額に反映できないと判断し、当社の個別財務諸表上、568百万円の減損処理を行うとともに、連結財務諸表では、個別財務諸表における減損処理後の簿価と、連結上の当社持分額とのれん未償却額との合計額の差額を持分法投資損失として処理したことによるものであります。

2. 業績予想と実績値の差異

(1) 2025年3月期会計年度(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想値 (A)	18,000	1,200	1,300	900	165.06
2025年3月期 実績(B)	18,414	1,336	536	243	34.80
増減(B-A)	414	136	△764	△657	
増減率(%)	2.3	11.3	△58.8	△73.0	

(2) 差異の理由

堅調なインバウンド消費や社会経済活動の平常化に伴う需要の回復により販売量が増加し、製造諸経費・輸送費など製造販売経費が上昇したものの製品価格の改定が進んだことなどから連結営業利益が増加いたしましたが、前述の持分法による投資損失の影響などにより連結経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が減少いたしました。

3. 2025 年3月期個別業績の前期実績値との差異

(1) (2024 年4月1日～2025 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2024年3月期 実績(A)	13,113	918	1,864	1,443	264.74
2025年3月期 実績(B)	14,224	1,254	1,026	189	34.80
増減(B－A)	1,111	336	△838	△1,253	
増減率(%)	8.5	36.6	△44.9	△86.9	

(2) 差異の理由

連結差異理由同様に堅調なインバウンド消費や社会経済活動の平常化に伴う需要の回復により販売量が増加し、製造諸経費・輸送費など製造販売経費が上昇したものの製品価格の改定が進んだことなどから営業利益が増加いたしました。前記の減損処理の影響などにより経常利益および当期純利益が減少いたしました。

以 上